

地域社会と緊密な連携を築く

学校・家庭・地域の融合を推進するPTA活動を目指して

南知多町立みさき小学校PTA

1 はじめに

本校は知多半島の南端に位置し、校区は海と緑に象徴される豊かな自然に囲まれた環境である。令和3年度末の旧師崎小・大井小の閉校に伴い、統合校として開校して3年目となる。学校規模は、児童数104名、学級数は9学級（通常学級6、特別支援学級3）、PTA会員数は78名である。『**み**んなで**さ**かそう**き**ぼうのえがお』を合言葉に、家庭や地域と連携し、教育活動を進めている。



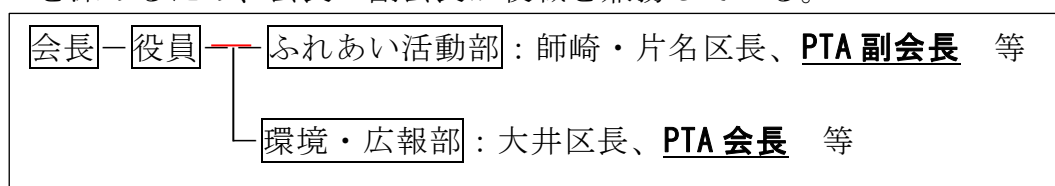
【みさき小学校校庭】

2 研究への取組

(1) PTA組織

本校のPTA委員は、役員9名（内 教員4）、委員5名で構成されている。会員数の減少により、特別部会は設けず旧両小学校区より5名ずつ委員を選出し、互選で会長を始め役員を決め活動している。

また、中学校の統合により令和5年度から本校が事務局を務めるようになった「師崎地区青少年を育てる会」（以後「青育会」）との連携を深めるため、会長・副会長が役職を兼務している。



【師崎地区青少年を育てる会 組織図】

(2) 研究のねらい

前述のように、町内小中学校は、「1中5小」の構想の下、学校規模適正化を進めている。令和4年度より本校が、令和5年度には、4中学校を統合し「南知多中学校」が、それぞれ統合校として新設された。小中学校の再編が進む中で、PTA組織も、単P・町Pで再編を余儀なくされ、新しい学校環境や拡大した校区に対応する組織づくりや持続可能な活動が求められている。これまでも連携を深めてきた地域との関わりを見直すことで、拡大した校区の融合を図りつつ、会員が主体的に取り組むPTA活動を研究していきたい。

3 実践活動の概要

(1) 登下校の安全を守る取組

① 登校時の横断歩道等当番活動

2校の統合により、校区が拡大し、約半数60名がスクールバス3台体制で通学している。低学年は自宅からバス停まで、保護者が見守っている。一方、徒歩通学児童は通学班での登下校を継続し、国道の横断歩道を渡る班の見守り体制を、PTAと地域の立ち番で維持している。



【児童の登校風景】

② 通学路安全点検と整備

ア 町PTA予算要望

町PTA連絡協議会に所属する単Pも、近年の統合により11校から7に減少した。しかし、統合校の校区は広がっており、スクールバスの運行も含め、通学の安全は継続した課題となっている。年1回町教育委員会教育課を通して、道路管理等の関係部局も参加していただき、町P連として予算要望会議を実施している。今年度本校PTAは、町P連事務局として各校の要望を取りまとめ、会を主催した。信号設置や横断歩道の設置には、関係部局のもつさまざまな設置基準があり、必ずしも要望が反映されるわけではないが、行政への情報提供として連携を深め、誠意ある回答が得られる場となっている。



【スクールバス発着場】

イ 各区クリーン活動

校区内には、大井・片名・師崎の3区に分かれており、それぞれの区の呼びかけで6月・7月にクリーン活動が実施されている。環境保全や、区民としての参画意識を高めるよい機会であり、実施日には世代を超えて力を合わせて住みよい町づくりに参加する機会となっている。地区の青少年を育てる会事業計画にも位置付け、家庭の主体的な参加を促している。



【学校前の通学路清掃】

ウ 小中合同清掃活動

昨年度の町内4中学校の統合により、それまで各中学校区で実施してきたPTA小中合同資源回収が困難となった。代わって、児童

とPTAが地域貢献や環境教育を推進する案として、「小中合同清掃活動」が企画されていた。今年度は2年目となり、本校校区の活動場所として、区民体育祭や夏祭りの会場となる本校校庭や、旧大井小学校校庭とその周辺道路及び、区の高台避難所となる施設の清掃を、小学校から情報提供し、南知多中学校生徒の進捗で取り組むことができた。地域や町防災部局からも感謝の言葉をいただき、児童生徒とともに取り組むPTA活動として、さらに充実を図る見通しが立っている。



【高台避難所清掃】

(2) 地域の触れ合いを大切にした取組

① 「磯に親しむ会」

統合前に両校で実施していた地域の自然を生かした保護者参観型の行事として校区の海岸に広がる磯を舞台とした活動を、統合後も引き継いでいる。旧大井小学校区・師崎小学校区の両区に良好な磯があるため、毎年会場を交互にしている。4～5名の自然観察会員の方を講師に、児童は縦割り班で活動し、任意で参加する保護者はその様子に目を細め、児童も保護者も地域の特性を生かした満足度の高い行事となっている。



【磯での保護者参観】

② 土曜学級・家庭教育教室（学校保健委員会）

6月第3土曜日に実施する土曜学級では、親子での触れ合いを趣旨とした活動を毎年工夫している。今年度は家庭教育教室として、より多くの保護者参加を企図していた学校保健委員会を重ね、テーマを「メディアコントロール」として、幼少期から手にするスマホやタブレットによる脳への影響について、児童と保護者が共に学ぶ場を設定した。その依存性の強さを改めて知り、通信端末とのつきあい方を児童・保護者共に再認識する声が多く聞かれた。



【学校保健委員会】

<学校保健委員会 会員の感想>

- ・スマホやゲーム依存の子どもたちの脳への悪影響の大きさに改めて驚いた。
- ・すでに与えているので、家庭でのルールを子どもとよく話し合いたい。
- ・時代がどんどん変わり、新しい知識を得る機会が大切だと感じた。

③ 「青育会」関連行事

P T A 役員が組織を兼務する今年度の青育会行事では、夏休み前半の土曜日に実施するグラウンドゴルフ大会、8月最終週のラジオ体操会（共に本校校庭会場）、2月最終日曜のふれあい歩け歩け大会などが、今年度も企画されている。親子・地域住民との世代を超えた触れ合いを企図するものであり、PTA 活動としても地域の支援を受けて積極的に連携を図っている。



【各区で開催の区民運動会】

④ 地区「まちづくり協議会」関連行事

各区では夏祭り、区民体育祭や冬季の国道沿いへのイルミネーション設置など地域の活性化を図る行事が盛んである。また、祭礼行事等への参加について児童参加の協力依頼が多くあり、統合した校区の融和も目的に挙げながら、段階的に拡充が図られている。休日や夜間に開催される行事が多く、今後も維持存続のために地区唯一の PTA として、会員の理解促進が欠かせない。



【イルミネーション点灯式】

<主な地域・まちづくり連携行事>

- 7 月 大井夏祭り
- 10 月 師崎区民体育祭
- 10 月 師崎羽豆神社祭礼、大井豊受神社祭礼
- 11 月 大井区民体育祭・大井イルミネーション事業
- 1 月 師崎左義長まつり、大井 28 社めぐり

4 おわりに

3 年前、長年地域に愛され住民交流の拠点ともなっていた 2 つの小学校の閉校は、児童を取り巻く環境の変化や通学の安全性等を維持する体制づくりに懸念が広がっていた。しかし、統合後は、会長職が短時間の話し合いで決まる PTA 役員間の前向きな姿勢と、早期に環境の変化に適応した児童の姿から、新しく発足した本校 PTA 組織も順調に滑り出すことができた。地域・学校が連携し、家庭での教育力を高めながら子どもたちの健やかな成長を支える体制が、翌年の町内 4 中学校統合後も続いている。減少する児童数・PTA 会員数を見通し、地域との連携を一層深めながら、子どもたち一人一人を「安心と確かさ」を軸に、本校 PTA ならではの「きぼうのえがお」が輝く教育環境づくりに努めていきたい。